MITSUBISHI

R410A対応品

三菱電機パッケージエアコン別売部品 右配管部品取付説明書

PAC-CE68RPH

WT05433X01

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。
- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。

（一般注意）

（一般禁止）

（接触禁止）

（ぬれ手禁止）

（一般指示）

（アース接続）

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、この取付説明書と共に本体ユニットの取扱説明書・据付工事説明書・保証書をいつでも見られるところに大切に保管してください。 移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

気密試験は「冷凍装置検査員」の資格のある者が行うこと。

⚠警告

販売店または専門業者が据付工事説明書に従って据付工事を行うこと。

- 不備がある場合、冷媒漏れ・水漏れ・感電・火災のおそれあり。

移設・分解・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。改造はしないこと。

- 不備がある場合、けが・冷媒漏れ・水漏れ・感電・火災のおそれあり。

⚠注意

部品端面や熱交換器のフィン表面を素手で触らないこと。

- けがのおそれあり。

製品を水・液体などで洗わないこと。

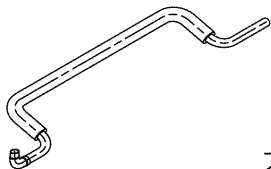
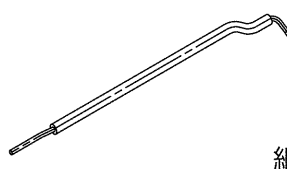
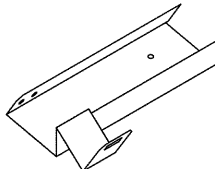
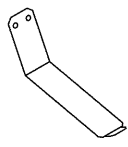
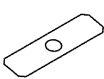
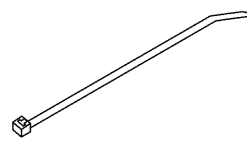
- 感電・火災・故障のおそれあり。

20kg 以上の製品の運搬は、1人でしないこと。

- けがのおそれあり。

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- 回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- 高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- 高温部に触れると、火傷のおそれあり。

お願い

工具はR410A専用ツールを使用すること。

- R410A 用として右記の専用ツールが必要です。
  お問い合わせは最寄りの「三菱電機システムサービス」へご連絡ください。

工具名	
ゲージマニホールド	フレアーツール
チャージホース	出し代調整用銅管ゲージ
ガス漏れ検知器	真空ポンプ用アダプター
トルクレンチ	冷媒充てん用電子はかり

１．部品

この箱には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

部品名	①配管（ガス）	②配管（液）	③配管支え板１
形 状	太い方	細い方	
個 数	1	1	1

部品名	④配管支え板２	⑤配管支え板３	⑥パンタイ	⑦ネジ
形 状				
個 数	1	1	2	4

２．取付要領

注意事項

・本作業を行う場合は、必ず製品本体の据付工事説明書と照らし合わせて行ってください。
・本作業は製品本体据付前に行ってください。
・ロウ付けは必ず無酸化ロウ付けを行い、配管内に異物、水分が混入しないようにしてください。
・ロウ付け作業は必ずフィルターを取外して行ってください。

お願い

・配管ロウ付け時、周囲の部材（ゴム、断熱材、配管等）にトーチの炎を当てないようにしてください。

（1）製品本体の左サイドパネル下のサービスパネルを取外してください。
（2）製品本体の前パネル下、後吸込みガード（ネジ２本）を取外してください。･･･図１
（3）右側サイドパネルのφ62、φ37ノックアウト穴を打抜いてください。･･･図２
（4）ゴムキャップを外し、配管内に封入されている窒素ガスを抜いてください。
（5）①配管（ガス：太）、②配管（液：細）を図１・２・３の通りセットしてください。
（6）③配管支え板１を⑦ネジ（２本）にて製品本体に取付けてください。･･･図１
（7）④配管支え板２を⑦ネジ（２本）にて③配管支え板１に取付けてください。･･･図１
（8）①、②の各配管を⑤配管支え板３と⑥パンタイにて固定してください。･･･図１

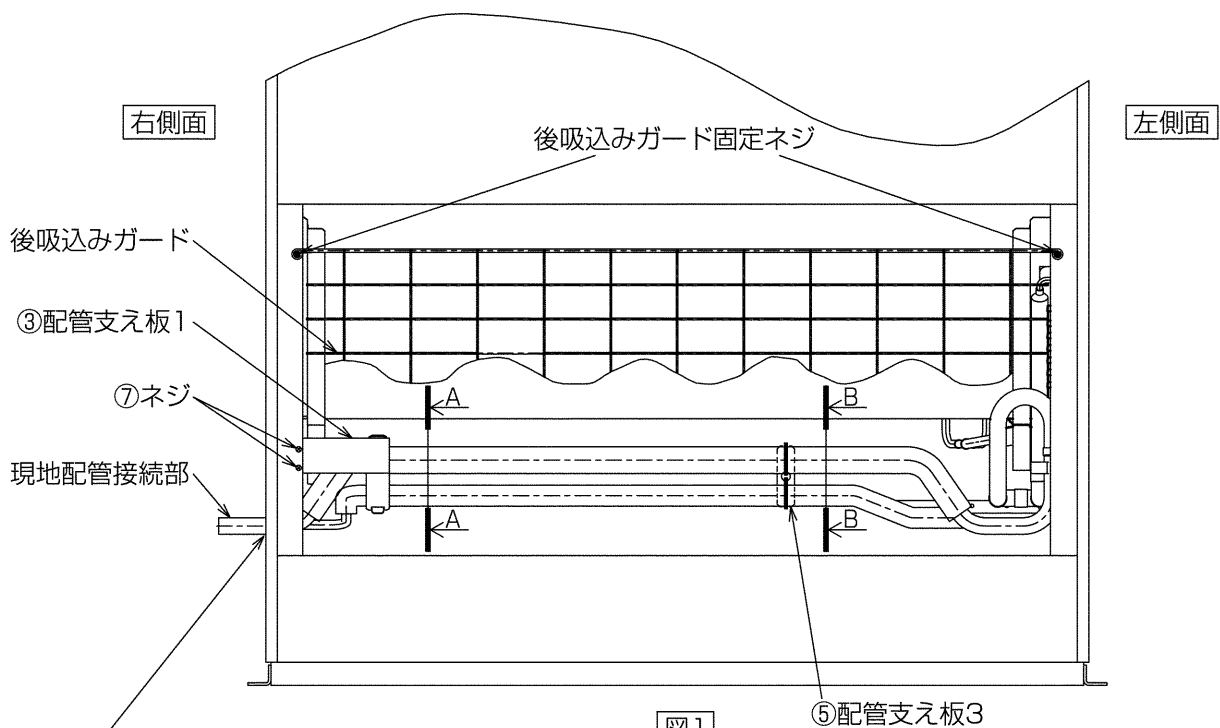



図1
（本体背面より見る）

・液管、ガス管のパイプカバー（現地手配）は
　サイドパネルの内側に５０mm以上入れてください。
・サイドパネル貫通穴とパイプカバー（現地手配）
　は隙間がないようにコーキングしてください。
・現地配管パイプカバーの中に配管の結露水が
　侵入しないように、コーキング等の水切り処置を
　してください。

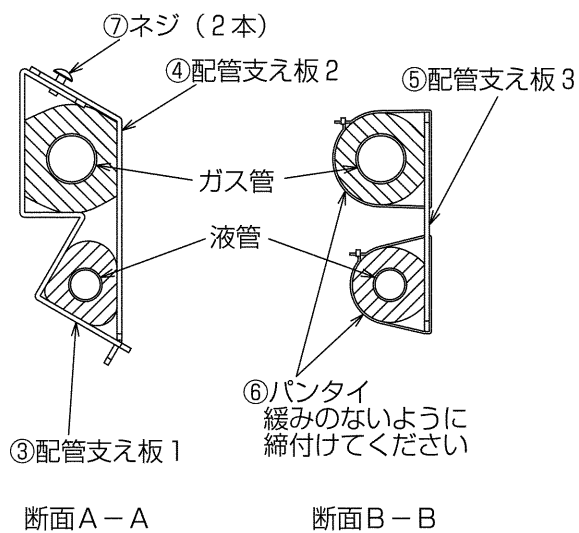
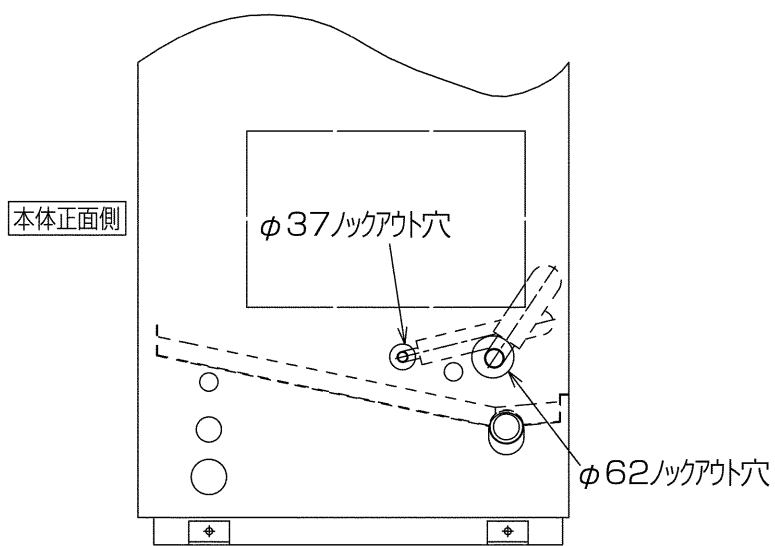



図２
（本体右側面より見る）

9）左サイドパネルのサービス点検口より、各配管接続部をロウ付けしてください。･･･ 図3

10）取外した前パネル下、後吸込みガード、左サイドパネル下のサービスパネルを元通り取付けてください。

図3

（本体左側面より見る）